

高尿酸血症は雪が降り始めた状態です。放っておくと、雪は積もり続けます。

監修：住友病院 院長
松澤 佑次 先生



たまった尿酸の結晶は体の各部位に沈着し、様々な症状を引き起こします。

● 関節

痛風関節炎

● 腎臓

痛風腎



● 皮膚

痛風結節

● 尿路

尿路結石

高尿酸血症はメタボリックシンドロームや腎障害と合併しやすいこともわかってきています。

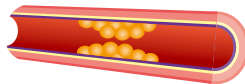
メタボリック
シンドローム

慢性腎臓病



高尿酸血症とこれらの合併症は
動脈硬化のリスクを高めます。

動脈硬化



動脈硬化は

心臓病

や

脳卒中

の

引き金となりますので
注意が必要です。



たまった
尿酸の結晶を
溶かすために!

尿酸値は **6** 以下を目指しましょう

6

mg/dL

7

mg/dL

を超えたら
高尿酸血症です

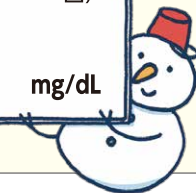
8

mg/dL

を超えたら
薬物治療を考えます

あなたの尿酸値
(月 日)

mg/dL



尿酸値は徐々になめらかに下げていくことが大切です。

- 尿酸値をゆるやかに下げるために少量から飲み始めます。
※尿酸値が急激に下がると、痛風発作が起こることがあります。
- お薬の量を増やすのは、症状が悪化したからではありません。

6mg/dL
以下を維持

朝 夕 1回20mg

月 日

●服用開始日

朝 夕 1回40mg

月 日頃

●目安:2週間後以降

朝 夕 1回60mg

月 日頃

●目安:6週間後以降

※6.0mg/dL以下にならないときは、
1回80mgを増やすことがあります。

維持用量

なぜ、6.0mg/dL以下を目指すの？

体内での尿酸の溶解限界よりも低い濃度である6.0mg/dL以下にすることで、体内にたまった尿酸の結晶が溶け始めます。尿酸が体内で結晶にならないようにするためにも、6.0mg/dL以下を維持することが大切です。



服用中に気になることがありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

作成:株式会社三和化学研究所 2017年2月